環境方針

私たちは、環境方針に基づき持続可能な社会の実現に貢献していきます。

近年、国内外においては持続可能な社会づくりに向けた、炭素中立・自然再興・循環経済など新たな目標が示され、またウェルビーイングや地方創生、DXなどもテーマとなっています。
これらの社会的動きに対応し、緑地や水辺、生き物の生息場所などの自然的な環境と、景観や安全安心などの様々な環境を創り育てる「花とみどり」に取り組む企業として、環境経営を進めるため新たに「環境方針」を定めました。
環境方針を事業活動に反映する事で、SDGsの達成に貢献します。

炭素中立
（カーボンニュートラル）

私たちは、「花とみどり」の持つ多面的な効用を最大限活用するとともに、事業活動によるCO_2排出量の削減を徹底することで、世界の2050年炭素中立目標に貢献します。

自然再興
（ネイチャーポジティブ）

私たちは、生物多様性の損失を止め、回復させる行動を推進するとともに、そこから得られた自然の価値を様々な人と共有して、人と自然が共生する社会の実現に貢献します。

循環経済
（サーキュラーエコノミー）

私たちは、「花とみどり」の空間をつくる資源である「水」「土」「木」を有効に利用するとともに、廃棄物の削減と適正な処理を徹底し、循環経済の実現に貢献します。

ウェルビーイング

私たちは、「花とみどり」が持つ心身を豊かにする力を引出すことにより、誰もがいきいきと暮らすことができるウェルビーイングな社会の実現に貢献します。

地方創生

私たちは、「花とみどり」を活かしたモノ・コトづくりを通じ、その土地の風土を的確に捉え、地域の人々とともに新たな価値を創造することで、持続可能な地域づくりに貢献します。

日比谷アメニスグループ これまでの環境への取り組み

1971年	（株）日比谷花壇造園土木 設立
1991年	（株）日比谷アメニスへ社名変更
	AMENITY SCAPE CREATION / 快適空間の創造 日比谷アメニスはこころにやさしい環境を求めて快適空間を創造しゆとりある社会の実現に向けて努めます。
2011年	当社初のCSRレポート発行
2012年	コーポレートメッセージ策定 〈コーポレートメッセージ〉 夢 と み り と る 〈3つのビジョン〉 ◎世界に誇れる「景色」をつくろう ◎こころが響きあう「場」をはぐくもう ◎生命あふれる地球を未来にとどけよう
2016年	CSR方針 策定 世界環境への取り組みSDGs発効
2018年	環境宣言 策定
2023年	環境方針 発表 エコアクション21認証取得 ネイチャーポジティブ宣言
これから	環境目標・環境計画 作成 環境方針を具体化するための目標・計画を作成し、各種活動に取り組んでいきます。日比谷アメニスグループらしさを持った目標・計画としていき、関連するデータの集計・報告も行います。目標・計画は適宜見直しを行い、時代の変化に対応していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エコアクション21
認証番号0013990

ネイチャーポジティブ宣言

トップメッセージ

社員が自身の活動の環境影響を認識し、意識や行動を変化させ、一体感を持たせながら大きな力としていく

環境方針を策定して以降、弊社ではエコアクション21の認証取得や生物多様性に関する取り組みへの参画などを進めてきました。環境に対してポジティブな取り組みの推進だけでなく、環境負荷の低減にも目を向けるため、事業におけるCO_2の排出量をクラウド上で集計する取り組みも開始しました。このように方針や認証、各種データといった形にしていくことは、事業活動の見直しや社外への発信の目的もありますが、社員が自身の活動の環境影響を認識し、意識や行動の変化につなげてもらうことも重要なポイントとして考えています。弊社が生み出す価値は一人ひとりの尽力に基づくものであり、まずは個の力を高め、それらを一体感を持って大きな力としていくことを目指します。

私たちが創出する価値を理解していただきながら事業の環境的・社会的価値を最大限に高める

事業を通じて社会や環境に様々な価値を提供することを目指していきますが、価値の提供は、弊社だけの力で成し得るものではなく、事業に関わるステークホルダーの皆さまのご協力により支えられています。そして、共に価値を創り上げていくためには、私たちが皆さまに対し、その価値をしっかりと説明できることが重要です。そのために、私たちの事業における環境に関する様々なデータを蓄積し、分析することを継続しています。また、公園・緑地の景観や心地よさといった要素も価値の一つですが、人によって捉え方が異なり、客観的なデータとして把握することが難しい面があります。この点については学術機関と共同研究を行い、その価値を生み出す要因の解明に取り組んでいます。社員の力を高めつつ、私たちが創出している価値を理解していただきながら、今後も事業の環境的・社会的価値を最大限に高めてまいります。

株式会社日比谷アメニス　代表取締役
伊藤 幸男